パッチ(マイナーアップグレードパッチ)の作成方法

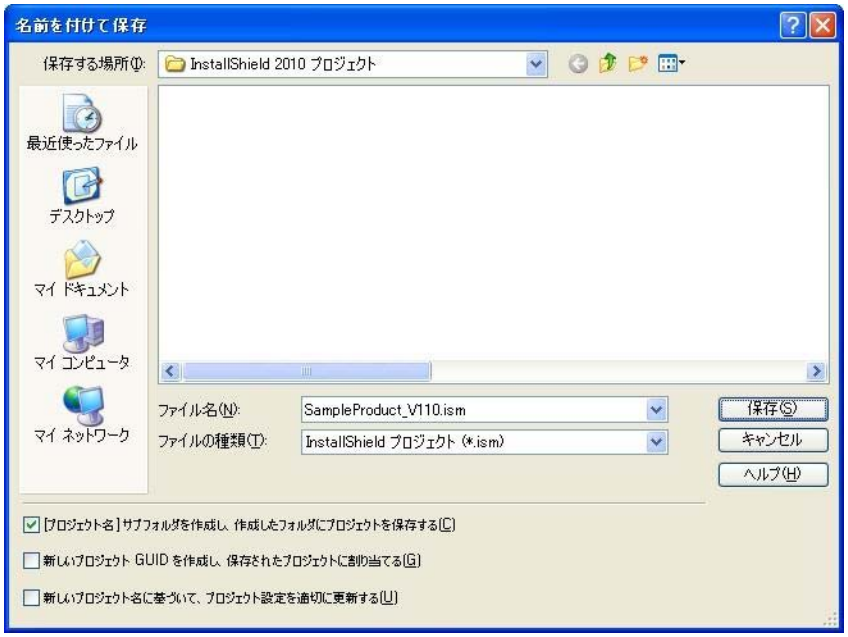
注)このドキュメントは、InstallShield 2010 Premier Edition を基に作成しています。InstallShield 2010 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合もあります。

準備

パッチは通常マイナーアップグレードを行なうフルメディアのインストーラと旧バージョンの差分のみを抽出したものとして作成を行ないます。 パッチの基本的な作成方法を確認するために、まずはベースとなる基本のMSI プロジェクト(Ver1.00.0000)およびマイナーアップグレードを行なうアップグレードプロジェクト(Ver1.10.0000)を作成します。(マイナーアップグレードを行なうプロジェクトの詳細は、「ID:00001473 マイナーアップグレードとメジャーアップグレードの作成方法」を参照してください)

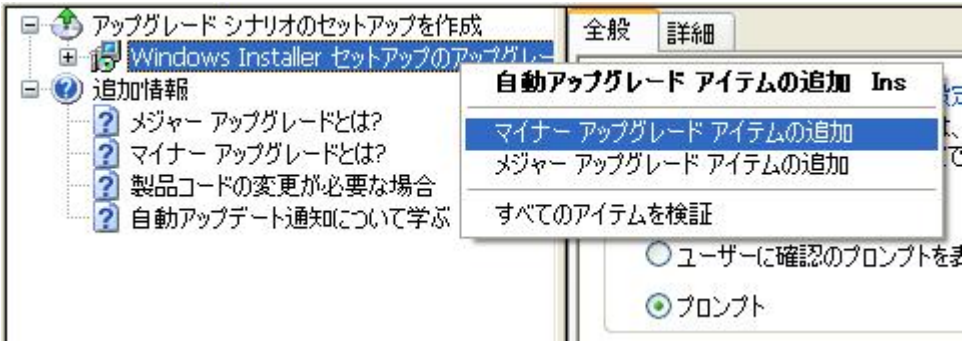
1. 基本の MSI プロジェクト(SampleProduct.ism)を作成します。
2. [一般情報]ー[製品のプロパティ]にて、バージョンを[1.00.0000]とします
3. ファイルの追加を行います。(この例では、SampleApp.exe(Ver.1.0.0.0)を追加します。)
4. ビルドを実行します。(このプロジェクトがパッチのアップデート対象となります)
5. 次に、マイナーアップグレードを行なうインストーラを作成します。 SampleProduct.ism(Ver1.00.0000プロジェクト)を開いた状態で、[ファイル]ー[名前を付けて保存]を選択し、ファイル名を SampleProduct_V110.ism として保存します。その際、以下の項目のチェックをはずします。

□[新しいプロジェクト GUID を作成し、保存されたプロジェクトに割り当てる]
□[新しいプロジェクト名に基づいて、プロジェクト設定を適切に更新する]



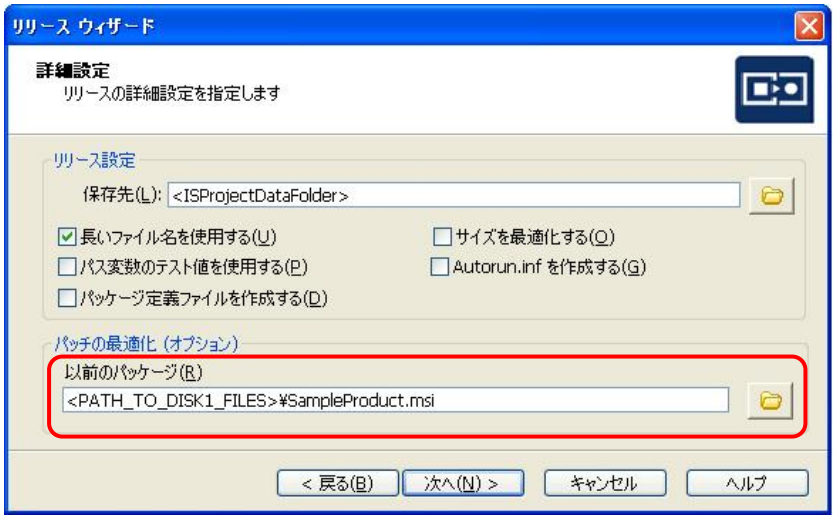
6. [一般情報]－[製品のプロパティ]にて、バージョンを[1.10.0000]とします
※製品コード、アップグレードコードは、Ver1.00.0000プロジェクトと同じことを確認します

7. ファイルの更新等を行います。SampleApp.exe（Ver.1.0.0.0）をSampleApp.exe（Ver.1.1.0.0）に更新します。
8. [メディア]－[アップグレード]ビューにて、[Windows Installer セットアップのアップグレード]を右クリックして、[マイナー アップグレードアイテムの追加]を選択します。



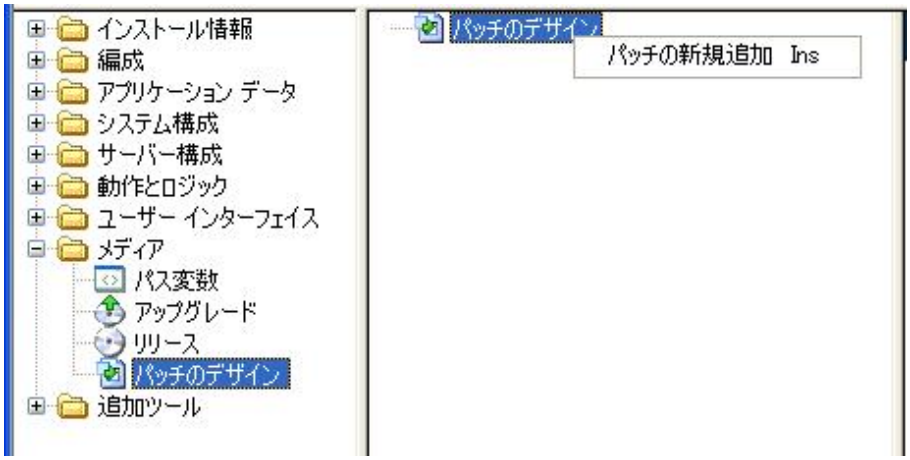
9. 作成された[Upgrade Msi Item1]を選択して、[アップグレードするセットアップ]にSampleProduct.ism（Ver1.00.0000プロジェクト）でビルドしたSampleProduct.msi（もしくはsetup.exe）を指定します
10. ビルドします。 パッチの作成にはフルメディアのインストーラ(msi ファイル)が必要となるため、こちらの手順を必ず行なってください。

※ パッチを作成する場合、元となる msi ファイルの最適化を行なうことが推奨されます。 msi ファイルの最適化はリリースウィザードの「詳細設定」ダイアログにて[パッチの最適化(オプション)]にパッチの対象となる msi ファイルを指定します。



パッチエントリの追加

パッチ作成のための設定をプロジェクトに追加します。[メディア]－[パッチのデザイン]ビューを選び、中央に表示される[パッチのデザイン]を右クリックして、[パッチの新規追加]を選択します。



新しくパッチのエントリ「PatchConfiguration1」が追加されますので、「SampleProduct100TO110」に名称を変更します。

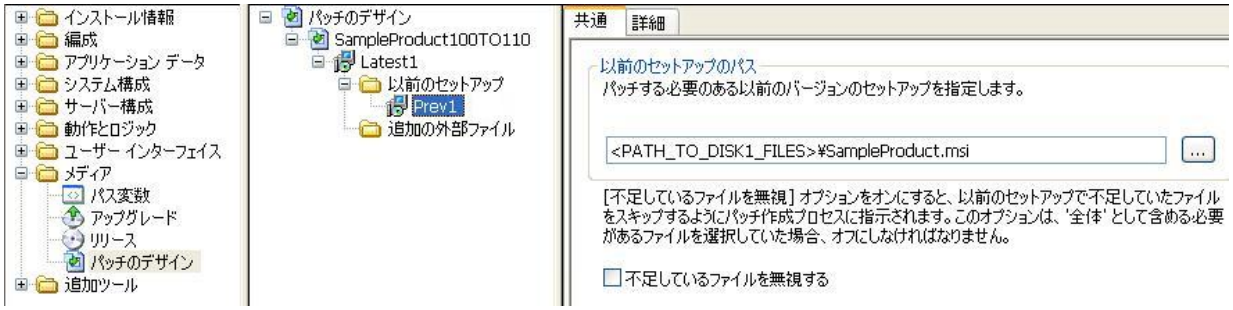
パッチの元となるフルメディアの最新版インストーラの指定

[SampleProduct100TO110]-[Latest1]を選び、右のウィンドウの[最新セットアップパス]に最新版の MSI ファイル(「準備」の手順5～10で作成を行ったインストーラ　)を指定します。



パッチの対象となる旧バージョンインストーラの指定

[以前のセットアップ]－[Prev1] を選び、右のウィンドウ[共通]タブ－[以前のセットアップのパス]へパッチの対象となる旧バージョンの MSI ファイル(「準備」の手順 1～4で作成を行ったインストーラ)を指定します。



※ 最新バージョン・旧バージョンのインストーラに単一形式の Setup.exe を指定する場合、msi ファイルを抽出するため一度展開を行なう必要があります。 この展開作業は、単一形式の Setup.exe を直接指定することで以下のダイアログより行なうことが可能です。



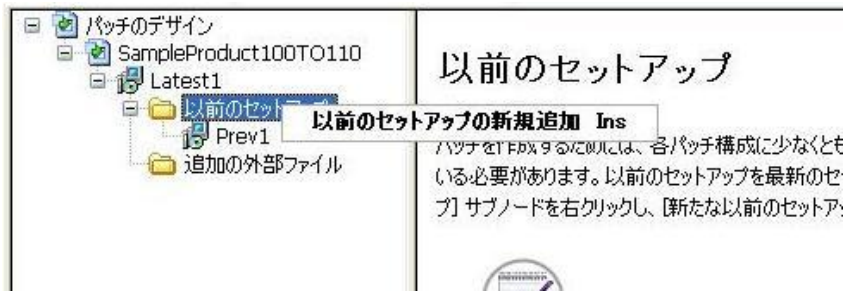
パッチの適応対象の指定

[パッチのデザイン]ビューにて作成されるパッチは、デフォルトで [以前のセットアップ]ー[Prev1] にて指定を行ったバージョン以下のすべてのバージョンに適用可能となります。(Ver1.1 をパッチ対象の旧バージョンに指定した場合、そのパッチは Ver1.0 に対しても適用可能です。) 作成するパッチの適応範囲を特定のバージョンのみにする場合(例:Ver1.2 のパッチを Ver 1.1 にのみ適用可能にして、Ver 1.0 には適用できなくする等)は、[詳細]タブー[バージョンの関係]に「以前のセットアップバージョン ＝ 最新のセットアップバージョン」を選択します。

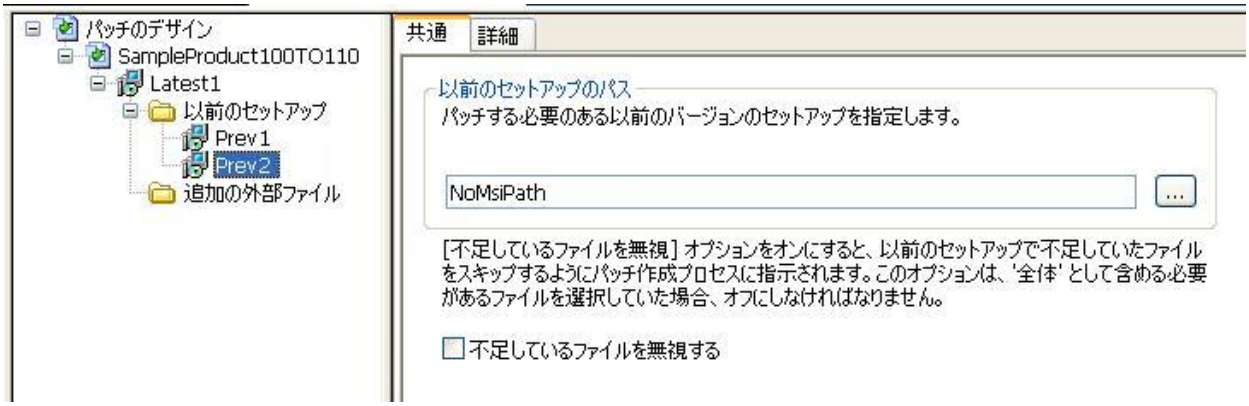


パッチを複数バージョンに対応させる場合

[パッチのデザイン]ビューにて作成されるパッチは前項で説明した通り、デフォルトで複数のバージョンに適用可能ですが、[以前のセットアップ]に明示的に指定されていないバージョンへ適用を行った場合、ソース要求のダイアログが表示される等の予期しない動作の原因となります。作成するパッチを複数の旧バージョンインストーラに適用させる場合(例:Ver 1.2 のパッチを Ver 1.0 Ver 1.1 の両方に対応させる場合)は、[以前のセットアップ]を右クリックして、[以前のセットアップ]を選び、対応させる旧バージョンごとにエントリを追加します。



上記の手順により旧バージョンのエントリ「Prev2」が追加されますので、 Prev1 と同様に対象となる msi ファイルを指定します。



[プログラムの追加と削除]パネル上での表示情報の設定

[SampleProduct100TO110]を再度選択します。 右のウィンドウ[識別]タブ－[表示名]に「プログラムの追加と削除」パネルでの表示名を設定します。



※この情報は Windows Installer 3.0 以上がインストールされている環境でのみ表示可能です。

パッチのビルド

[共通]タブ－[ランチャの設定]にて[Update.exe の作成]以外のチェックをすべてはずします。 [パッチのビルド]ボタンをクリックして、パッチパッケージの Update.exe を生成します。

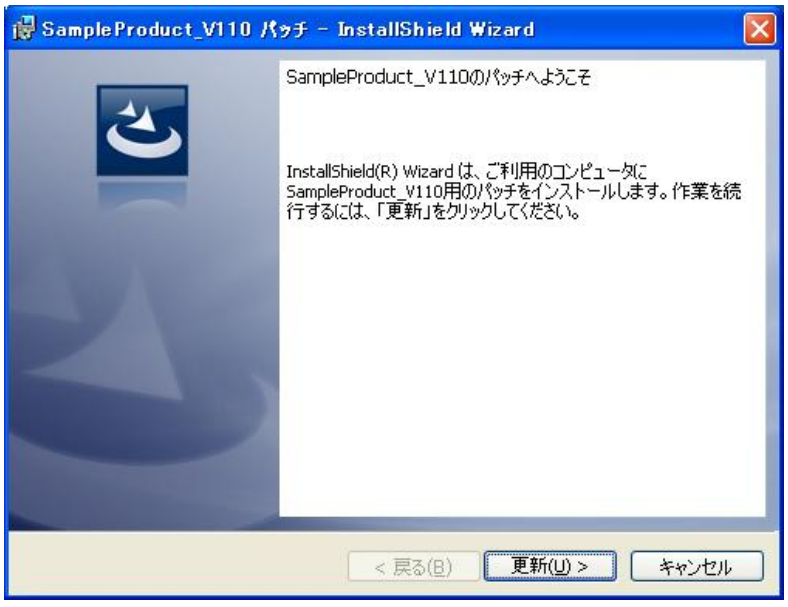


※Update.exe はデフォルトで以下のフォルダに生成されます。

C:¥InstallShield 2009 プロジェクト¥SampleProduct_V110¥SampleProduct100TO110¥Patch

パッチの適用

1. パッチの対象となる旧バージョンのインストーラ（プロジェクト SampleProduct.ism）を実行して、[プログラムの追加と削除]パネルで現在のバージョン(1.00.0000)を確認します。
2. Update.exe を実行してパッチの適用を行ないます。



3. パッチの適用後[プログラムの追加と削除]パネルでバージョンが 1.10.0000 にアップグレードされているか確認します。

   また、「更新プログラムの表示」にチェックを付けた際に、SampleProduct の下に適用を行ったパッチが表示されることを確認します。

